

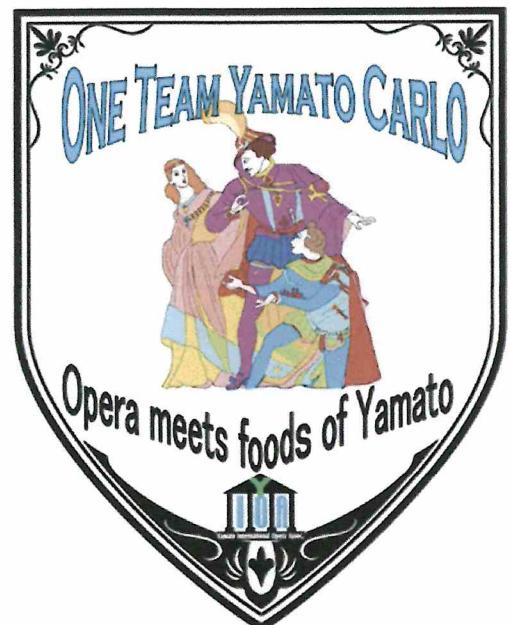
【One Team Yamato “Carlo”】 ～Don Carlo×お店紹介 やまとをもっと元気に！～

やまと国際オペラ協会では、来年2024年1月21日に、この大和で、初めて本格的な、しかも日本で初めての形で上演されるオペラ「ドン・カルロ」を上演します。この日を挟んで、1か月程度でよいので、期間限定で「ドン・カルロ」スペシャルと銘打って、ドン・カルロに関係のあるスペイン・フランス・イタリアなどのメニュー・物産を特別にご提供いただけないでしょうか？ オペラを見た後で、観劇の余韻に浸りながら、食事をして帰りたいという来場者は多くいらっしゃいますし、オペラを楽しみに待っている期間も、「ドン・カルロ」を思いながら、おいしいものを食べたいという方もたくさんいらっしゃると思います。協会でも、ホームページ、SNSなどでも、お店を紹介しながら、盛り上げていきたいと思っておりますので、ご協力いただけます。

《これまでの例》

☆エ・プロント やまと文化森店 今回も協力依頼

- ・「ドン・ジョヴァンニ」スペシャル：モーツアルトのオペラ
- 「ドン・ジョヴァンニ」（ハイライト）の上演に際して、スペシャルなスペインのおやつ、ベーコン入りメリエンダをご提供いただきました。



☆オンラインで「ドン・カルロ」⇒ やまなし AK ファーム 決定！

「やまと」つながりの山梨からオンライン販売。やまなしAKファームに依頼決定。「ドン・カルロ」スペシャルとして、シャインマスカット/ピオーネをお得な価格で提供。商品のパッケージに「ドン・カルロ」のチラシと、One Team Yamato Carlo の告知用紙を入れて、郵送してもらう。



【大人気葡萄コンビ】8月下旬から順次出荷 完熟！
ニューピオーネ&シャインマスカット(約 2.0kg)
¥4,000 (税込 / 関東圏送料別) 予約受付中
お届け予定：2023年8月下旬～2023年9月上旬

※やまと国際オペラ協会事務局で受付中
申し込みは下記の QR コードで



希望個数と送り先をお知らせください。
お振込先は受付後にお知らせいたします。

《大和市内の飲食店・店舗の皆様へのお願い》

飲食店向け： ①期間限定で「ドン・カルロ」に因んだ、特別メニューを提供していただき、協会 SNS 等で、そのメニューを掲載しながら、お店を紹介
②プログラムに One Team Yamato Carlo のお店を紹介するチラシを作成し、配布。公演終了後に立ち寄ってもらえるように紹介 （掲載料 ￥3000）

店舗向け： ①「ドン・カルロ」に因んだ商品を置いてもらい、協会 SNS 等で、その商品を掲載しながらお店を紹介
②プログラムに One Team Yamato Carlo のお店を紹介するチラシを作成し、配布。公演終了後に立ち寄ってもらえるように紹介 （掲載料 ￥3000）

《特別メニュー等の例》

☆やきとり店 ⇒スペイン風串焼き Pincho Moruno

ピンチョ・モルーノ(pincho moruno、串焼き)は、スペイン料理を代表する肉料理のひとつ。pincho は串の意味で、直訳すれば「ムーア人のケバブ(串)」あるいは「モーグ風ピンチョ(串焼き)」という意味になる。香辛料でマリネした豚肉や鶏肉を串焼きにしたもの。数 cm に切った肉の角切りを用意。下準備として、ニンニクやパセリ、カイエンヌ(カイエンペッパー)、パプリカ、唐辛子などの香辛料を含むタレに肉をつけて、串に刺して焼き、塩とクミンを振りかけて提供。



☆レストラン⇒スペイン風のオムレツ Tortilla de Patata

皆さんもご存じ、オムレツの中にポテトを入れた、ボリュームたっぷりのスペイン風オムレツ



☆市内のケーキ屋さん ⇒オペラに因んだケーキ

(例) ケーキ Opera を「ドン・カルロ」風にアレンジした
ケーキを期間限定でお願いしたい



☆居酒屋さん ⇒ ドン・カルロに因んだ お酒/カクテル/スペイン産ワインなど

(例) 期間限定 サングリア風のカクテル「ドン・カルロ」



どんな形でも結構ですので、お店にあったスペシャルメニューを期間限定でご提供いただければ幸いです。
どうぞよろしくお願ひいたします。

やまと国際オペラ協会事務局長

長谷部美由紀 info@yioa.net 080-6563-1885

G.VERDI

DON CARLO

YAMATO 5幕版



**最も古く、最も新しい、
 YAMATO版「ドン・カルロ」
 日本初の扉が開く！**
 「木こりの合唱」「エリザベッタの嘆きの歌」たちが今蘇る！バレエ

**大和市文化創造拠点シリウス
 やまと芸術文化ホール メインホール**

2024.1.21 Sun
Open 12:45 Start 13:30

CAST & STAFF

【指揮】	桑原 裕介
【演出】	中津 邦仁
【フィリッポⅡ世】	デニス・ヴィシュニヤ
【ドン・カルロ】	城 宏憲
【ロドリーゴ】	森口 賢二
【エリザベッタ】	西本 真子
【エボリ公主】	丹吳 由利子
【大審問官】	志村 文彦
【修道士】	長谷部 浩士
【テバルド】	小林 英理子
【レルマ伯爵・王の先触れ】	富澤 祥行
【天の声】	大音 絵莉
【アレンベルグ伯爵夫人】	古志 祐華
【合唱指揮】	箕輪 健太
【管弦楽】	やまと国際フィルハーモニー管弦楽団
【合唱】	やまと国際オペラ協会合唱団
【バンド】	ユース・ウインド・オーケストラ
【バレエ】	大和シティー・バレエ

8/15～チケット販売開始
 シリウス チケットブース (10:00-18:00)
 046-259-7591
 カンフェティ (WEB&Tel)
 0120-240-540 *通話料無料



プレミアムシート ¥12,000
 SS席 ¥6,500 S席 ¥5,500
 A席 ¥4,500 自由席 ¥3,500

やまと国際オペラ協会 <http://yioa.net>



大和市生涯学習振興補助金交付事業 / (公財)朝日新聞文化財団 芸術活動助成事業 / (公財)程ヶ谷基金助成事業
 後援: 大和市 / 大和市教育委員会 / (公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団 / (公財)大和市国際化協会
 FM やまと 77.7MHz

「ドン・カルロ」のストーリーと見どころ

「太陽の沈まない国」と呼ばれた1560年頃のスペインは、カトリック教会をバックに絶大な世界勢力となり、異教徒に対しても弾圧を加えていた。こうした時代背景の中で、史実に残る人物を主体に、オリジナルのストーリーが展開する。

スペイン国王フィリップ2世の息子カルロは、許嫁であるフランスの王女エリザベッタを一目見るために、パリの郊外、フォンテンブローを訪れる。そこへ、エリザベッタが現れ、戦争で仕事を失い路頭に迷う木こり達や夫を亡くし乳飲み子を抱えた女達、貧困に苦しんでいる民衆を元気づける。カルロとエリザベッタが、互いが運命の相手と知り、神が与えてくれた愛に歓喜し、未来を信じた矢先、使者がやってきて、エリザベッタが正式にスペイン国王と婚約したことが告げられた。愛するエリザベッタが、父の妻になる…カルロは、絶望の淵に突き落とされ、1幕が閉じる。この冒頭の木こり達の合唱は、ドン・カルロ初演(1867)でも、長すぎてゲネプロでカットされた、幻の名作の1つで、今回これを再現し、魅力を伝える。

エリザベッタへの想いを断ち切れず一人悩むカルロは、一方、スペインの圧政に苦しむ、フランドル地方(今のオランダ辺り)の新教徒を救おうとしており、宗教上も国王である父親と対立している。エリザベッタへの想いを断ち切れずに悩むカルロは、友人であるポーザ卿ロドリーゴに、自分の想いを打ち明けるが、ロドリーゴは、「母を愛するのは罪。そのことは我々の心の中にしまっておいて、今はスペインの圧政に苦しむフランドル地方の新教徒の人々を共に救おう」とカルロを諫める。カルロは、ロドリーゴとの友情を選び、フランドルを救うために力を尽くすことを誓う。この二重唱のテーマは、随所に出てくる「友情」を示す有名な旋律で、これを聴いて「ドン・カルロ」の爱好者になった方は多いだろう。

自他ともに認める美貌のスペイン宮廷の大貴族メンドーサのエボリ公女は、カルロに想いを寄せていた。戴冠式の前夜祭として開かれた、王妃のための仮面舞踏会の夜、王妃と戯れ、衣装を交換したエボリは、束の間の王妃気分で、そのままカルロを誘惑しようと思いつく。暗がりの中、カルロは、エリザベッタと間違えてエボリに想いを告げてしまうが、事実を知ったエボリは怒りを爆発させ、腹巣にエリザベッタの大切にしていた宝石箱を盗んで国王に渡してしまう。そこにはカルロの肖像画が入っていた。カルロへの気持ちを抑え、王妃としての義務を果たそうと貞節を守るエリザベッタとそれを疑う国王フィリップとの溝はさらに深まる。絶大な権力を持つスペインの王であるにもかかわらず、妻のエリザベッタは、今まで一度も自分を愛したことはないと憂えて歌う。チエロのソロが王の心の内を示すかのように孤独感を表現したアリアが切なく響く。

さらに王の苦悩は続く。異端者に加担した息子もこのままでは反逆罪として処刑せざるをえない。この状況を回避できないかと大審問官に訴えかけるが、大審問官は、神の意思は絶対であり、異端者に加担した王子のみならず、腹心の家臣ロドリーゴをも撃てと命じる。宗教権力者である大審問官に従わざるをえない王の苦悩は増すばかりだった。王と大審問官の重厚なバスの二重唱は、スペインの王と神の代弁者の二重権力のぶつかり合いを余すところなく表している。

これらの人物像の、心の内面を巧みに表現した、ヴェルディの音楽の最高峰「ドン・カルロ」。ヴェルディファンなら、壮大なセレモニーを描く大規模な音楽で、圧倒される迫力に魅力を感じる人も多いだろう。国王の戴冠を祝う式典では、異端者の火刑が挙行され、20人にも及ぶ華々しいファンファーレ、民衆の歓喜、修道士達の祈り、フランドルの使節団による陳情などが、スケールの大きさを感じさせるクライマックスを彩る。さらに、仮面舞踏会の場面では、エリザベッタを称えるバレエ「ラ・ベレグリーナ」が、初演時に存在したが、1883年以降姿を消した。今回の制作では、この隠れた名曲を再現し、新しいバレエ作品とした。様々な特徴に光を当てて描く一大スペクタクル！ ヴェルディが、1866年初稿版から20年試行し到達した、最終稿5幕モダナ版。さらに、最も古い初稿の魅力との融合で織りなす、比類なき転身。今、時代を超え、最も新しい「YAMATO 5幕版」が、サステナブルな世界に蘇る！



指揮
糸原 裕介



演出
中津 邦仁



ドン・カルロ
城 宏憲



ロドリーゴ
森口 賢二



エリザベッタ
西本 真子



テバルド
小林英理子



大審問官
志村 文彦



修道士
長谷部浩士



レルマ伯爵
富澤 祥行



天の声
大音 絵莉



大和シティー・バレエ

やまと国際フィルハーモニー管弦楽団
大和シティー・バレエ

やまと国際オペラ協会合唱団
ユース・ウィンド・オーケストラ



やまと国際オペラ協会
info@yioa.net 046-272-1885
<http://yioa.net>

